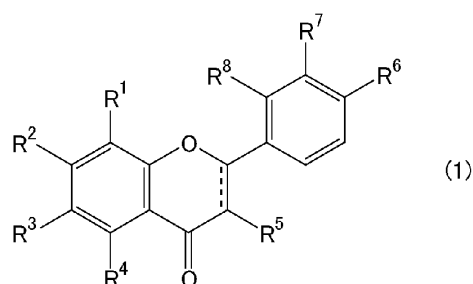


請求の範囲

[請求項1] 下記一般式（１）で示されるフラボノイドを有効成分として含む軟骨再生促進用組成物。

[化1]



（上記式中、 R^1 、 R^2 、 R^3 、 R^4 及び R^5 は、それぞれ独立して、水素原子又は水酸基を表す。 R^6 は、水酸基又は炭素数１～２のアルコキシ基を表す。 R^7 及び R^8 は、一方が水素原子を表し、他方が水酸基又は炭素数１～２のアルコキシ基を表す。破線は、結合が形成されていてもよく、形成されていなくてもよいことを表す。）

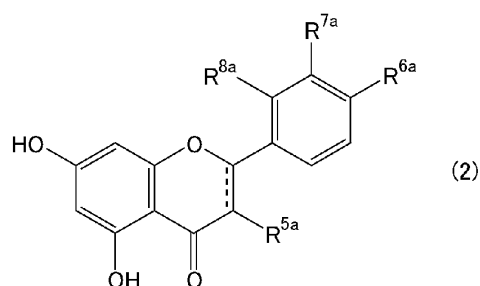
[請求項2] 軟骨細胞への分化を促進する請求項１に記載の軟骨再生促進用組成物。

[請求項3] R^1 及び R^3 は、水素原子を表す請求項１又は２に記載の軟骨再生促進用組成物。

[請求項4] R^2 及び R^4 は、水酸基を表す請求項１～３のいずれか一項に記載の軟骨再生促進用組成物。

[請求項5] 一般式（１）で示されるフラボノイドが、下記一般式（２）で示されるフラボノイドである請求項１～４のいずれか一項に記載の軟骨再生促進用組成物。

[化2]



(上記式中、 R^{5a} は、水素原子又は水酸基を表す。 R^{6a} は、水酸基又はメトキシ基を表す。 R^{7a} 及び R^{8a} は、一方が水素原子を表し、他方が水酸基又はメトキシ基を表す。破線は、結合が形成されていてもよく、形成されていなくてもよいことを表す。)

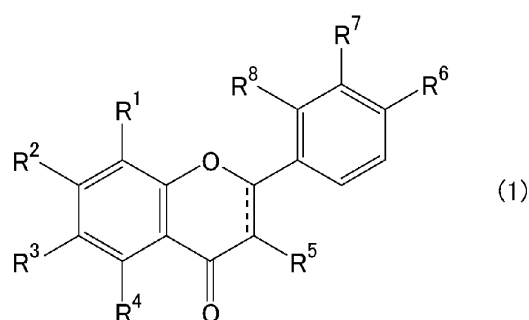
[請求項6]

一般式(1)で示されるフラボノイドが、ケルセチン、ヘスペレチン、タキシフォリン、イソラムネチン、エリオジクチオール、ルテオリン及びモリンからなる群より選択される1種以上である請求項1～5のいずれか一項に記載の軟骨再生促進用組成物。

[請求項7]

下記一般式(1)で示されるフラボノイドを投与する、軟骨再生促進方法。

[化3]

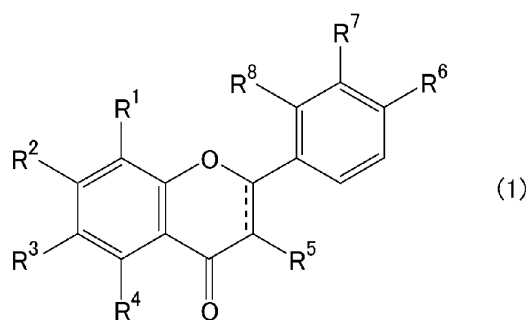


(上記式中、 R^1 、 R^2 、 R^3 、 R^4 及び R^5 は、それぞれ独立して、水素原子又は水酸基を表す。 R^6 は、水酸基又は炭素数1～2のアルコキシ基を表す。 R^7 及び R^8 は、一方が水素原子を表し、他方が水酸基又は炭素数1～2のアルコキシ基を表す。破線は、結合が形成され

ていてもよく、形成されていなくてもよいことを表す。)

[請求項8] 軟骨再生を促進するための、下記一般式(1)で示されるフラボノイドの使用。

[化4]



(上記式中、 R^1 、 R^2 、 R^3 、 R^4 及び R^5 は、それぞれ独立して、水素原子又は水酸基を表す。 R^6 は、水酸基又は炭素数1～2のアルコキシ基を表す。 R^7 及び R^8 は、一方が水素原子を表し、他方が水酸基又は炭素数1～2のアルコキシ基を表す。破線は、結合が形成されていてもよく、形成されていなくてもよいことを表す。)